

仙台市長 郡 和子 殿

新型コロナウイルス肺炎の感染防止等に関する

緊 急 要 望

(第5次)

公明党仙台市議団

仙 台 市 長 郡 和 子 殿

新型コロナウイルス肺炎の感染防止等に関する緊急要望（第5次）

緊急事態宣言解除を受けて

令和2年6月1日

公明党仙台市議団

団 長	鈴 木	広 康
幹 事 長	鎌 田	城 行
副幹事長	小野寺	利 裕
幹 事	小田島	久美子
	嶋 中	貴 志
	佐 藤	和 子
	佐々木	真由美
	佐 藤	幸 雄
	竹 中	栄 雄



全都道府県における緊急事態宣言が解除され、政府は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応する2020年度第2次補正予算案を閣議決定致しました。この中で、地方自治体の裁量を重視した「地方創生臨時交付金」の増額が大幅に図られたところであります。

本市においては、市民のご協力を得て第一波を乗り越えることができました。気を緩めることなく第二波、第三波に立ち向かわなければなりません。

郡市長には、支援事業を展開していただき、市民のいのちと生活を守る施策の一層の推進を願うものです。

きょう6月1日から、実質的に新学期の開始となりますが、コロナ禍による家庭環境の変化がきょうだいげんかや親子げんかなどを引き起こし、家族内の不安が高まりを見せる中で、のスタートであり、児童生徒の不登校が増えるであろう、との予測も指摘されるところであります。きょうからの一日一日を、学校も家庭も地域も「子どもの変化を見逃さない」との思いで見守り、いのちを守る取り組みに全力を尽くしていただきたいのです。

また、3密防止の取り組みに代表される新たな生活様式は、長期戦と覚悟して随所で柔軟な対応を行うことが求められております。

公明党市議団は、コロナ禍を早期に克服すべく、いのち、生活、事業、雇用を強力に支援する施策の実行を求め、第5次緊急要望と致します。

《要 望 項 目》

1. 事業・雇用の現場を守る

① 家賃補助等の支援

市内中小企業を支援するため、店舗家賃の負担軽減補助金制度、または企業家賃支援給付金制度を創設すること。

神戸市では、200万円を上限（2カ月分）に、借主の家賃を貸主が2分の1以上、軽減させた場合に市が減額した金額の8割を貸主に対して補助します。

鎌倉市では、100万円（または50万円）を上限（2カ月）に、賃借料相当分の給付金を支給します。

② 理容業・美容業また公衆浴場応援事業(奨励金)

社会的に欠かすことができない施設である理容業・美容業について、その施設の衛生水準を高めることで利用者の安全を確保するとともに事業の継続を図るために、事業者等が行う清掃、消毒等の公衆衛生確保の活動強化等に対して奨励金等の給付を行うこと。

③ 卸売市場の使用料減免

中央卸売市場ではコロナ禍の中で、水産、青果、食肉、花きと前年度売り上げを大幅に下げている状況で、特に花きにおいては前年比40%ダウンの大幅な減少になっています。市場使用料の支払い猶予はしているものの、今後の影響に鑑み使用料減免の対応を行うこと。

④ 文化事業への支援拡充

コンサートなど文化事業の実施に当たっては、3密対策のため、定員に対する集客の抑制が必至である。開催を積極的に応援して関連産業を救済する観点から、市有施設利用にあたっての基本使用料の全額免除（付帯設備利用料を除く）を実施すること。

⑤ ベビーシッター派遣事業の創設

臨時休園や登園自粛の影響で、在宅勤務の中でお子さんを保育されるご家庭があり、ワークと保育の両立で疲弊している声があがっている。子育て世帯を支援する新たな活動事業として、ネウボラ事業の一環で「ベビーシッター派遣事業」を創設し、保護者がベビーシッターを利用した場合の利用料を助成すること。

2. 医療・介護の現場を守る

① 発熱外来の設置

(きめ細かい医療体制等構築事業)

コールセンター(かかりつけ医)が「感染のリスクは低い」と判断し、苦痛を訴えて助けを求める方への診療の機会が失われている。診断処方されるはずの診療現場から発熱を理由に診察を拒絶されている。コロナウイルス感染ではないかと不安を抱える患者を対象とした、休日夜間も考慮したスケジュールで、「検温・問診・簡易な治療・PCR検査」を行うことができる場所を設置すること。

② 医療施設・介護施設等への衛生用品優先配布

(マスク、消毒液)

医療施設・介護施設等及び放課後等デイサービス、保育所は3密を避けようにも、人と関わる仕事であるゆえにマスク・手指消毒液はいくらあっても足りない状況である。市への寄贈等による物資については優先配布すること。

③ 人と関わるエッセンシャルワーカーの方々の発熱等による疑いでの、PCR検査優先判断

上記のような職種を含むエッセンシャルワーカーの方々の発熱等による疑いでの相談があった際にはPCR検査を優先的に行えるように配慮すること。

④ 布マスク回収ボックスの設置

各家庭に配布予定だった国からの布マスクが、仙台市民のもとにも届き始めたところである。市民からは、他で困っている方に役立ててもらいたいとの声もあり、他都市では回収ボックスが用意されている。本市でも各区役所や市民センターなどに回収ボックスを設置して、有効活用を図っていくこと。

3. 地域・生活の現場を守る

① 新しい生活様式の周知と実践・啓発

子どものマスク使用、暑い屋外でのマスク使用も含めて今後第2波に備えた、新しい生活様式での学校生活や日常生活について、熱中症対策等への注意及び周知広報を行うこと。

日々の実践が功を奏するため、3密防止のための柔軟な対応を行うとともに、啓発に注力すること。

② 海外等からの移転者安心事業

海外や県外等にいた家族などが地元に戻ってくる際に、同居する家族や地域を守るため、一時的に宿泊・滞在できる施設を確保すること。

③ 自主的な隔離措置応援事業

同居する家族にウイルス感染させる恐れがある人等について、本市が自主的に隔離施設として宿泊施設を借り上げて準備すること。

④ ひとり親世帯への経済的支援

児童扶養手当を受給しているひとり親世帯等への新たな支援策が国から示されているが、緊急支援の恩恵を全く受けない家庭に対しては、本市独自で（仮称）「ひとり親世帯臨時特別給付金」を創設し、早期に支給すること。

⑤ ホームレス支援策の強化

収入の激減により、生活困窮に陥り住居を失う方が出ており、これまでの支援策では対応できない状況である。市としての新規事業も示されているが、旅館ホテル等に協力を要請することも視野に入れ一時避難的な住居を確保するなど、早急に支援強化を図ること。

4. 学校・避難所の現場を守る

① 学校への体温計配置

(小学校 119×6 学年×3 本 計 2142 本、 中学校 64×3 学年×3 本 計 576 本)

6 月から市立学校の再開により、新生活様式での授業・学校生活がスタートします。その中で児童生徒の体温測定は必須であり、短時間で簡易に測定できる体温計配置を早急に行うこと。

② 学校再開に伴う教育環境支援

- ・市立学校の再開により、夏休みが短縮され夏季期間に授業確保することになります。小学校においてはエアコン設置率が 40%未満であり、校内での熱中症対策を行うことが求められる。冷水器の設置等の対策をすること。
- ・市立小学校におけるエアコン設置未整備校への夏季休業時の授業対応のため、冷風扇等の配置を行うこと。
- ・長期にわたる休業により児童生徒及び教職員も慣れるまで時間もかかると想定される。スクールサポートスタッフ等を臨時雇用し対応すること。
- ・修学旅行や野外活動等の延期により新しい生活様式で 3 密を回避して少人数でバスを借り切る等、追加的な経費が必要となる。それらの経費の充当支援を行うこと。
- ・エアコンの未整備校については、当日の予想気温が 30 度を超えた場合に臨時休校とするなど、柔軟に対応すること。

③ 避難所備蓄品の見直しと災害への備え

新型コロナ禍の中で避難所体制も今までとは違うカタチで整えなければなりません。感染が疑われるかたが避難所で発生した場合の、分散方法や入場時の導線の仕分け等明確な指針を地域防災計画にも反映させること。また、感染防止に備えたマスクを含む備蓄品の見直しと配備を行うこと。

④ 県立高校等の施設を 3 密に配慮した避難所スペース拡充先に提供要請

国の通知に応じ、コロナ禍に対応した避難所となるため、これまでの避難所に加え、市内で指定されていない県立高校等の施設に対して、新たな避難所として提供されるよう、県に対して要請すること。